

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

- Q1. 答え：受身 解説：「叱ら」四段未然＋「る」終止形「る」。他者（親）から動作を受ける。「親に叱られる」。
- Q2. 答え：尊敬 解説：「仰せ」下二段「仰す」未然＋「らる」。主語が上（高貴）。「上がおっしゃる」。
- Q3. 答え：可能（の打消） 解説：「読ま」四段未然＋「れ」（る連用）＋「ず」。「字が読めない」。
- Q4. 答え：自発 解説：「こぼ」（下二段「こぼる」連用…）＋「るる」（る連体形）。心情系「思ふ」と共起。「涙が自然とこぼれる」。
- Q5. 答え：（参考）尊敬「す」未然形「せ」＋尊敬「たまふ」（二重敬語） 解説：「る・らる」ではないが、混同しやすいので注意。
- Q6. 答え：受身 解説：「濡らさ」四段未然＋「る」。「雨に濡らされる」。
- Q7. 答え：尊敬 解説：「寝（ね）」下二段未然＋「らる」。主語が君（高貴）。「君がお寝みになる」。
- Q8. 答え：受身（打消を伴う） 解説：「見」（上一段「見る」未然「み」）＋「らる」未然「られ」＋打消「ず」。「暗くて、人に見られない」。
- Q9. 答え：自発 解説：「思ひ出で」下二段未然＋「らる」。心情系。「故人が自然と思い出される」。
- Q10. 答え：自発（または受身） 解説：「嘆か」四段未然＋「る」。「嘆く」は心情系 → 自発「自然と嘆かれる」。
- Q11. 答え：受身 解説：「飛ばさ」四段未然＋「る」。「風に飛ばされる」。
- Q12. 答え：（参考）尊敬補助動詞「たまふ」 解説：「る・らる」ではないが、尊敬表現として重要。
- Q13. 答え：可能の打消 解説：「書か」未然＋「れ」＋「ず」。「書けない」。
- Q14. 答え：自発 解説：「偲ば」四段未然＋「る」。「偲ぶ」は心情系。「自然と偲ばれる」。
- Q15. 答え：尊敬 解説：「仰せ」下二段未然＋「らる」。主語が大臣（高貴）。
- Q16. 答え：受身 解説：「見透かさ」四段未然＋「る」。「見透かされる」。
- Q17. 答え：尊敬 解説：「出で」下二段未然＋「らる」。主語が高貴。「京をお出になる」。
- Q18. 答え：自発 解説：「聞こえ」下二段「聞こゆ」未然＋「らる」。知覚系 → 自発。「鐘の音が自然と遠くまで聞こえてくる」。
- Q19. 答え：可能の打消 解説：「読ま」未然＋「れ」＋「ず」。「字が読めない」。
- Q20. 答え：受身 解説：「打た」四段未然＋「る」。「雷に打たれる」。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

- Q21. 答え：受身 解説：四段「笑ふ」未然＋「る」。「人に笑われる」。
- Q22. 答え：尊敬 解説：主語が大納言。「いとうつくしと御覧になる」。
- Q23. 答え：可能の打消 解説：「踏まれない＝踏むことができない」。
- Q24. 答え：自発 解説：心情系「思ひ出づ」。「自然と思い出される」。
- Q25. 答え：受身 解説：四段「ひく」未然＋「る」。「御車を引かれる」。
- Q26. 答え：（参考）使役/尊敬「す」＋「たまふ」（二重尊敬） 解説：「落とす」は四段動詞なので、未然形「落とさ」に接続するのは「す」（未然形「せ」）。「らる」ではないが二重尊敬として混同しやすい。下二段動詞の未然形に接続するのが「さす」、四段・ナ変・ラ変の未然形に接続するのが「す」。

- Q27. 答え：自発 解説：「覚ゆ」（下二段）は心情・知覚系。「自然と思われる」。
- Q28. 答え：自発 解説：「驚く」心情系。「自然と驚かれる」。
- Q29. 答え：受身 解説：「縛らる」＝「縛られる」。
- Q30. 答え：（参考）使役/尊敬「す」＋「給ふ」 解説：「る・らる」と混同しないこと。
- Q31. 答え：可能の打消 解説：「帰られず＝帰れない」。
- Q32. 答え：尊敬 解説：主語が「上」（高貴）。「御覧になる」。
- Q33. 答え：自発 解説：「感じる」心情系。「自然としみじみと感じられる」。
- Q34. 答え：受身 解説：「許される」打消。「親に許されない恋」。
- Q35. 答え：自発 解説：「動く」心情系。「自然と心が動かされる」。
- Q36. 答え：尊敬 解説：主語が上（高貴）。「内裏よりお出になる」。
- Q37. 答え：受身 解説：「追はる」＝「追われる」。
- Q38. 答え：自発 解説：心情・知覚系。「自然と目が覚める」。
- Q39. 答え：受身 解説：「被らる」＝「お恵みを受ける」。
- Q40. 答え：可能の打消 解説：「静まれず＝静まらない」。
- Q41. 答え：（参考）使役/尊敬「す」＋「たまふ」 解説：二重尊敬。
- Q42. 答え：受身 解説：「濡らさる」＝「濡らされる」。
- Q43. 答え：自発 解説：「見る」心情・知覚系。「自然と見える」。
- Q44. 答え：尊敬 解説：主語が帝。「お聞きになる」。
- Q45. 答え：受身 解説：「妬まる」＝「妬まれる」。
- Q46. 答え：自発 解説：「思ひ知る」心情系。「自然と思い知らされる」。
- Q47. 答え：受身 解説：「取らる」＝「足を取られる」。
- Q48. 答え：（参考）二重尊敬「せ給ふ」 解説：「る・らる」ではない。
- Q49. 答え：自発 解説：「自づから」と共起。「自然と鳴き始められる」。
- Q50. 答え：可能の打消 解説：「言われず＝言えない」。

【第3部】応用編（Q51～Q80）

- Q51. 答え：受身 解説：他者「知る人」が動作主。「折られる」。
- Q52. 答え：自発（連体形「るる」） 解説：「自然とこぼれる涙」。後半「知らるまじ」は受身（「知られまい」）。
- Q53. 答え：可能の打消 解説：「言うべきでもありえない＝言えない」。
- Q54. 答え：（参考）使役/尊敬「さす」＋「たまふ」 解説：「る・らる」ではないが、混同注意。
- Q55. 答え：尊敬（or 受身） 解説：主語が高貴なら尊敬「お召し出しになる」。受身なら「召し出される」。
- Q56. 答え：受身 解説：「鳥獣に恐れられる」。
- Q57. 答え：可能の打消 解説：「え～ず」と呼応。「お袖も濡らすことができない」。
- Q58. 答え：自発 解説：「思ひ出づ」心情系。「自然と思い出される」。
- Q59. 答え：（参考）使役/尊敬「す」＋「給ふ」 解説：二重尊敬「お流しになる」。

Q60. 答え：受身 解説：「射らる」＝「矢を射られる」。

Q61. 答え：尊敬 解説：主語が高貴。四段「おぼし召す」未然形「おぼし召さ」＋「る」。「お思いになる」。

Q62. 答え：自発 解説：「見る」心情・知覚系。「自然と故人が夢に見える」。

Q63. 答え：受身 解説：「倒さる」＝「(嵐に) 倒される」。

Q64. 答え：可能の打消 解説：「いみじきこと、口にすることができない」。

Q65. 答え：尊敬（または受身） 解説：主語が高貴なら尊敬「お書きになっていた」。受身なら「書かれていた」。

Q66. 答え：自発 解説：「思は」四段「思ふ」未然＋「る」。「思ふ」は心情系 → 自発。「月を見ると、自然と昔のことが思われる」。

Q67. 答え：尊敬 解説：「らる」連体＋「べき」。「どうなさるべきだろうか」。

Q68. 答え：受身 解説：「責められる」。

Q69. 答え：可能の打消 解説：「逢えない」。

Q70. 答え：尊敬 解説：主語が高貴。四段「とまる」未然形「とまら」＋「る」。「(御覧になって) お目に留まる」。

Q71. 答え：自発（連体形） 解説：「覚ゆ」心情系。「自然と思い出されることを」。

Q72. 答え：尊敬 解説：主語が「上」(帝)。「お召し出しになる」。

Q73. 答え：受身（過去） 解説：「ぬ」は完了。「雨に濡らされてしまった」。

Q74. 答え：自発 解説：「思ひ知る」心情系。「自然と思ひ知る」。

Q75. 答え：可能の打消 解説：「こちらへ近く参ることができない」。

Q76. 答え：尊敬 解説：主語が大宮（高貴）。「お書きになる」。

Q77. 答え：自発 解説：「引く」心情系。「自然と心が引かれる」。

Q78. 答え：受身 解説：「落とさる」＝「落とされる」。

Q79. 答え：尊敬 解説：主語が院。「お顔色をお改めになる」。

Q80. 答え：自発 解説：「思ひやる」心情系。「自然と我が身がいとおしく思いやられる」。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81. 答え：尊敬 解説：「思しめす」自体が尊敬語。主語が高貴。「ことのほかお思いになる」。

Q82. 答え：受身 解説：「散らさる」＝「散らされる」。

Q83. 答え：自発 解説：「こぼる」自動詞だが心情系。「自然と御涙がこぼれる」。

Q84. 答え：受身（または尊敬） 解説：主語が高貴なら尊敬。一般人なら受身「召し出される」。

Q85. 答え：尊敬 解説：主語が高貴。「月を御覧になる」。

Q86. 答え：可能の打消 解説：「行くことができない」。

Q87. 答え：受身 解説：「置かる」＝「置かれる」。

Q88. 答え：自発 解説：「見ゆ」と同様、心情・知覚系。「自然と眼前に見られる」。

Q89. 答え：尊敬 解説：主語が中将（高貴）。四段「持ち参る」未然形「持ち参ら」＋「る」。「お持ち参上になる」。

Q90. 答え：可能の打消 解説：「起き上がることができない」。

Q91. 答え：受身 解説：「世にも知られるばかりだ」。

Q92. 答え：受身（または自発） 解説：「惑はす」他動詞の受身、または心情系の自発「自然と惑わされる」。

Q93. 答え：尊敬 解説：四段「聞こし召す」未然形「聞こし召さ」＋「る」。「聞こし召す」自体が尊敬で「る」が重ねられる二重尊敬。「お聞きになる」。

Q94. 答え：自発 解説：「思ひやる」心情系。「自然と思いやられる」。

Q95. 答え：受身 解説：「問はる」＝「罪に問われる」。

Q96. 答え：尊敬（完了「ぬ」と連結） 解説：「御車をお寄せになったので」。

Q97. 答え：自発 解説：「おぼゆ」心情系。「言いようもなく、自然と心細さが感じられる」。

Q98. 答え：尊敬（または受身） 解説：主語が高貴なら尊敬「広くお施しになる」。

Q99. 答え：前半＝可能の打消、後半＝自発 解説：「眠られず＝眠れない」、「泣き明かさる」は心情系で「自然と泣き明かされる」。

Q100. 答え：自発 解説：「見出だす」心情・知覚系。「自然と見出される」。